

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【職業科】

1. 対象 特別支援学校 高等部

教師の簡単な指示を聞いて活動できる生徒や、一斉指示では内容を聞き取ることができず確認することが必要な生徒がいる。グループの中ではお互いに声を掛け合い教えあっている姿が見られる。1年生は、高等部によりやく慣れてきた。自分の卒業後の進路に向けて現場実習があることは分かっているが具体的に職種を考えるまでには至っていないのでこの授業によって具体的に考える授業となる。

2. 単元名 「マイドリーム 私の進む道」（全4時間）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	・自分の身の回りの職種が分かる。 ・親の仕事についてインタビューすることができる。
思考力、判断力、表現力等	・自分の身の回りの職種について発表したり、周りの意見を聞いて考えたりすることができる。
学びに向かう力、人間性等	・インタビューした内容や周囲の意見を参考にして、進路の方向性について考え、答えを出すことができる。

4. 授業展開【 単元 】

解決したい課題や問い

- ・卒業後のイメージがもちにくい中で、3学期の短期実習や次年度の現場実習に向けたより具体的な職種選定のための情報収集を行う。

考えるための材料

- ・事前学習プリント「親の仕事と目的、やりがい」
- ・周囲の人々の職種、仕事に就いた理由、やりがいについてまとめるためのワークシート
- ・キャリアパスポート（今年度立てた進路目標、生活目標）
- ・Job Tag（職業情報提供サイト）
- ・卒業生の進路

想定される活動

- ・9月5日 →「親の仕事とやりがい」について発表、情報共有、卒業生の進路、先生たちの進路
※自分のもっている情報と周囲からの情報を比べる。
→世間の仕事、職種調べ
※自分の知らなかった仕事、職種を再発見する。
- ・9月13日→仕事についての「やりがい」「目的」って何だろう。
※ただ仕事をするだけでなく、目的ややりがいが必要なことだと実感する。
→その仕事が存在する目的を身近なもので考えよう。
※流通について知り、生活する上での必要性を実感する。
- ・9月19日 →住んでいる地域の就職に関する現状について
※地元地域の会社をあげてどんな仕事があるのか知る。
→ハローワークの方に聞いてみよう。
※実際に担当者から話を聞き、現状を知る。
- ・9月26日 →自分の希望、やってみたい仕事について考えて、話そう。
→進路に向けて自分の課題をあげてみよう
※チェックリストを見ながら自分の課題を再認識する

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

- ・ 父親、母親にインタビューをする。
 - 「どんな仕事をしている？」 「どうしてその仕事に決めたの？」 「仕事を続ける上でのやりがい（モチベーション）になっていることは？」
- ・ 周囲の人々の話を聞いて、自分が共感できる仕事を挙げてみる
 - 「仕事をする目的ってみんな違うんだ。」 「生活する上で仕事って大事なんだ。」 「生活するためには働かなくてはならないんだ。」 「仕事も大事だけど楽しみも大事だね。」
- ・ 地域のハローワークの障害者担当に質問を考える
 - 「この地域に〇〇業はありますか？」 「この地域ではどんな仕事が人気ですか？」 「求人が一番多い仕事は何ですか？」 「一番お給料が多いのはどんな仕事ですか？」
- ・ 自分との対話
 - 「どんな仕事をしてみたい？」 「長く続く仕事はなんだろう？」 「楽しくできそうな仕事はなんだろう？」 「お給料もらったら何に使おうか。」 「この仕事きつくないかな。」 「一緒に働く人たちはどんな人がいるだろう。」 「働くためにはどんな力を身につけたらいいだろう？」

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

- ・ 現場実習に向けて自分のやりたい仕事が見付かる。
- ・ 働くために必要な力について考えられる。
- ・ 親の意見、友達の意見、先輩の意見を聞いて参考になった。
- ・ 実習のため、社会人になるために自分の課題は何だろう、いろいろと身につけていこう。